

福岡県知事 小川 洋 様

令和3年1月12日

公明党福岡県議団  
団 長 森下 博司  
政 審 会 長 大塚 勝利

## 新型コロナウイルス感染症に関する緊急要望

菅総理は新型インフルエンザ対策特別措置法に基づき、東京、埼玉、千葉、神奈川の1都3県に緊急事態宣言を発令した。全国の新規感染者数は過去最多の水準に、重症者も増加の一途にあり、医療現場の受け入れ態勢は限界を迎えつつある。本県でも1日の新規感染者数が数日間300人を超える等、今後も増加すれば、陽性者の病床確保、入院調整など医療提供体制に困難が予測される。以下、医療現場の声をもとに緊急要望する。

1. 感染拡大に伴い、PCR検査数が増え、結果が判明するのが翌日夕刻となる一方、施設や在宅で療養している高齢患者が発熱などで急変した場合、救急搬送を要請した患者の受け入れ先が見つからない搬送困難事例が本県で増えつつあると聞く。PCRを実施していない、または結果判明まで入院が待てない発熱患者が搬送困難となることが危惧される。現在、感染症指定病院でこれらの患者を全て受け入れることは困難である。ついては民間病院で1床でも2床でも、発熱患者を受け入れるよう福岡県として要請するとともに、受け入れた医療機関に対し財政支援を行うこと。
2. 透析患者や障がいのある方、認知症や介護が必要な高齢者などが感染した場合に対応できる病床を確保すること。
3. 新型コロナウイルス感染症に罹患した高齢者の患者が治癒し、PCR陰性が確認できた後も自宅や元の施設に帰れず、退院ができない人がいる。こうした人を積極的に受け入れ、日常生活に戻すことは医療崩壊を防ぐことにつながる為、退院基準を満たした療養リハビリが必要な患者を受け入れる病院の確保に努めること。あわせて患者を受け入れた医療機関に対し財政支援を行うこと。